

DSPP シリーズ

水性抜染インク Discharge Preprint Water Based Inks



テクニカルデータシート

推奨生地	C : コットン(綿)/濃色生地
乾燥温度	149~160°C 印刷後すぐに乾燥 温度は低く乾燥時間を長くする事で 抜染反応を高めます
隠蔽力	透明~乳白色 生地色により異なる
仮乾燥後のタック	メッシュ数の増加に伴い減少
推奨印刷手順	プリント→完全乾燥 仮乾燥を行うと抜染反応が起きます デザインに応じて 仮乾燥の有無をご判断ください
スキージ硬度	60~70°
乳剤	耐水性乳剤/カピラリーフィルム
スクリーン	156~186メッシュ (印刷デザインにより異なる)
洗浄	水、ぬるま湯、中性洗剤 水溶性スクリーンウォッシュ
保存方法	18~35°C 高温多湿/直射日光を避け密閉して保管



製品概要

- ・コットン(綿)100%生地への抜染インク
- ・発色の良い柔らかな仕上がりが特長
- ・単独のホワイト、アンダーベースとして最適
- ・アンダーベース後プラスチックをWetOnWet印刷可能

使用用途

- ・抜染に適した染料で製造された
コットン(綿)100%生地への抜染印刷用インク

ご使用方法

- ・ご使用前に十分にインクを攪拌してください
- ▼「DSPP-9050 Clear」を
アンダーベースとして使用する場合
WetOnWet印刷で他のカラーのプラスチックや
水性インクを印刷できます
- ▼DSPP-1003 Bright White
・より白色に抜染したい場合に使用する抜染ホワイト
- ▼DSPP-9050 Clear
・スタンダードな抜染クリア
・白度を上げる場合
「DSPP-1003 Bright White」を加えることができます
- ▼DSPP-9070 Clear base DC-B
・着抜に適したクリア
・抜染に適した顔料を加える事で抜染を行いつつ
着色できます
・赤色系顔料は抜染剤と相性が悪い場合があります
使用する顔料メーカーにご確認ください
- ▼添加剤の混合
・必ず印刷直前に抜染剤「DSPP-9ZFS ZFS Agent」を
6~8%加え充分混合してください
・抜染剤「DSPP-9ZFS」を添加するとポットライフが
発生します
6~8時間以内に使い切るようにしてください
- ▼テクニカルアドバイス
・少量の水を添加する事で生地への浸透を増加できます
・生地に浸透するよう強いスキージ圧で印刷します
・スクリーン上でインクが乾燥しないように印刷直後に
インク返しを行います
- ▼印刷時間が長くなる場合
スクリーン上のインク粘度を保つために状況に応じて
霧吹きで水を吹きかけてください
- ▼洗浄について
・スクリーンやスキージは水またはぬるま湯で洗浄します
・必要に応じて中性洗剤を使い洗浄してください



吉川化工株式会社

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町1-6-27

TEL : 06-6266-2251 FAX : 06-6266-2254

〒101-0011 東京都千代田区神田小川町2-10-4

TEL : 03-3294-5051 FAX : 03-3294-5055

添加剤

(インク重量比に対して記載の「%」を添加します)

▼「DSPP-9ZFS ZFS Agent」

- ・パウダー状の抜染剤
- ・DSPPシリーズに6~8%を加えます
- ・添加するとポットライフが発生します
6~8時間以内に使い切るようにしてください

※注意：ミネラルスピリットは添加できません

WEBサイト

(動画/印刷見本はQRコードからアクセス)

吉川化工WEB DSPP



抜染&着抜



抜染アンダーベース&プラスチゾル

シリーズ-品番-品名

スタンダードカラー Standard Colors	クリアベース Clear Base	添加剤(アディティブ) Additives
DSPP-1003 Bright White	DSPP-9050 Clear	DSPP-9ZFS ZFS Agent
	DSPP-9070 Clear base DC-B	

※「シリーズ名-品番 品名」がグレーアウトの商品は、非在庫商品または廃番商品です

ご注意

- ・高温多湿/直射日光を避け蓋を閉めて保管してください
- ・保管上 インクが固くなる事や分離する場合がありますので、必ず攪拌してからご使用ください
- ・全ての生地が抜染に適した染料で染められているわけではありません
使用前に抜染インクをテストして生地が抜染できるかどうかを判断してください
- ・生地の染色程度により抜染後の色や風合いが異なる場合があります
- ・乾燥時の抜染反応により煙や匂いが発生します 乾燥後すぐは印刷部分よりガスが発生しています
- ・熱い状態で印刷部分に他の生地が触れるとゴースト(抜染反応)が発生する場合があります
生地を充分冷ました後に包装してください
- ・抜染剤には亜鉛ホルムアルデヒドスルホキシレート(CAS: 24887-06-7)が含まれます。
大部分は乾燥時に蒸発しますが、残留する場合がありますので必ず着用前に洗濯してください
- ・高温状態になったインクや添加剤を入れたインクは元の容器に戻さず別の容器に入れ密閉して保管 または廃棄してください
- ・常温でインクは硬化しません 硬化後のインクはアイロンやドライクリーニングには適しません
- ・特定の生地/素材にインクが適しているかどうか、密着、クロック(割れ)、隠蔽性、洗濯性、その他の特性について、必ず生産前に常にテストして、要求仕様に耐えられるかご確認ください
- ・身体/衣類/その他の物へ、インク/添加剤/シンナーが付着しないようご注意ください
- ・使用中は充分な換気と防護眼鏡/防護手袋の装着を推奨します 詳しい注意事項はSDS(安全データシート)をご覧ください